

1	事業名称	信州高遠アセアン加盟国中学生招聘交流事業				
2	新規・継続	継続				2年目
3	趣 旨	アセアン諸国で日本に興味関心のある中学生を招聘，国立青少年教育施設を拠点に地域の特性を生かした自然体験・文化体験・日本の青少年との交流体験を通して，日本に対する理解の増進を行う。また，日本の青少年に対して国際的視野の醸成・次世代リーダーの養成を図る。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
			11月19日（木）	～	11月29日（日）	10泊11日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家				
6	募集人数	21人 中学生シンガポール・カンボジア・ブルネイ 各国6名 引率1名 計21名				
7	共催・協力・後援	伊那市，伊那市教育委員会				
8	参加者人数	アセアン中学生18名 引率3名 計21名 日本人中学生交流実行委員会21名 高遠中学校全校生徒147名				
9	参加者類型	シンガポール・カンボジア・ブルネイの中学生18名(各国6名)及び引率者3名 日本人中学生 中学生交流実行委員会21名 高遠中学校全校生徒147名 職員20名				
10	参加者地域	アセアン中学生 シンガポール，カンボジア，ブルネイ 日本人中学生 長野県伊那市（伊那市立高遠中学校）				
11	参加者分析	アセアン中学生は，英語を話すシンガポール・カンボジア・ブルネイの中学生各6名（原則13歳～15歳）で，当機構の選考基準をもとにBAJA（ブルネイ日本留学生協会），JUGAS（シンガポール留日大学卒業生協会），JAC（カンボジア日本元留学生協会）が招聘者の募集及び選考を行う。日本人中学生は，伊那市立高遠中学校生徒会役員3名と，1年生から3年生までの各クラスから3名ずつを交流実行委員として選考する。				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
		94%	6%	0%	0%	
13	アンケートの主な記述	※アンケート記述内容にはアセアン招聘中学生と日本人中学生の両方を記載 ・旅の目的を達成させることができた。新しい友達を作り，素敵な人々に出会えた。日本人は皆本当に親切だった。 ・日本の文化は本当に素晴らしい。是非日本で大学生活を送りたい。 ・オリエンテーリングで高遠の様々な場所を案内することができて良かった。外国の人と交流することはとても大切だと思った。 ・言葉は通じなくても，身振り手振りで結構伝わった。伝えようとする気持ちや心が大切だと感じた。 ・色々な交流やフェアウエルパーティーが本当に楽しかった。アセアン実行委員になって良かった。私たちもアセアンの国に行ってみたいと思った。				
14	成 果	・高遠中学校の全面的な協力を得て，部活動交流，授業体験，給食・清掃体験等を温かい雰囲気の中で行うことができた。アセアン中学生達は日本の中学校生活を体験的に学び，その理解を深めることができた。帰国後もメール等での交流が継続している。 ・ホームステイでは，日本人の心にふれる貴重な体験を行うことができた。松本城などの日本文化・歴史体験，駒ヶ岳ロープウェイの雪山体験等から日本への理解を増進させ，更に日本を学びたいという強い動機づけを行うことができた。 ・日本人生徒達は，アセアン中学生の語学力や前向きな姿勢に大きな刺激を受け，今後の生活の充実と，将来に向けての視野を広げていくきっかけとなった。				
15	今後の課題	・本年度は本交流の大きな目的となっていた「日本人青少年の次世代リーダーの養成」に力を入れることができたものの，交流する中学校は2年間継続して1校に限定してきた。次年度以降は他中学校にも交流の枠を拡大し，担当教員と連携を密に取りながら円滑な事業実施を図っていきたい。 ・次年度B日程には休日が2日間しか無い。交流実施中学校の教科授業時間を確保しつつ，充実した中学生意見交換会を実施するためのスケジュール調整について考えていかねばならない。 ・他中学へ交流の幅を広げれば，アセアン中学生と日本人中学生との交流に関わるプログラムの移動距離が大きく増加し，活動時間に大きなロスが生じる。その点については一考を要する。				

16	担当者メモ	・年間事業の中で最も長期に及ぶ事業であるため、企画指導専門職が数名担当に入り、事業推進係や総務管理係の協力を十分に得る中で意図的・計画的に事業を推進していくことが望ましい。 ・事業計画の段階で、交流実施中学校の年間行事等を十分考慮しつつ、中学生交流実行委員会の実施時期や運営方法について検討していく。 ・引き続き通訳をこなす能力を持つ大学生ボランティアの確保につとめていく。また、事業当日の運営について本年度同様事前説明会を実施し、円滑に事業を推進できるよう配慮していく。 ・アセアン招聘中学生の保護者が不安を抱えぬよう、本年度は子ども達の日本での生活場面をweb上で知らせる配慮を行った。（※該当保護者のみしかアクセスできないよう設定）引き続きその方向を継続していきたい。
----	-------	--

	プログラム展開 アセアン加盟国中学生招聘交流事業		
	日程・時間	プログラム	担 当（講師等）
	11月19日（木）		
1 日 目	午前	入国，成田空港・羽田空港到着 担当迎え	国立信州高遠青少年自然の家職員
	午後	国立信州高遠青少年自然の家に移動，諏訪大社参拝	国立信州高遠青少年自然の家職員
	夜	入所案内，オリエンテーション	国立信州高遠青少年自然の家職員
	11月20日（金）		
2 日 目	午前	伊那市長・教育長表敬訪問	伊那市教育委員会学校教育課 北野浩幸課長
	午後	第1回 高遠中学校訪問（部活動交流）	伊那市立高遠中学校
	夜	ウエルカムパーティー	国立信州高遠青少年自然の家職員
	11月21日（土）		
3 日 目	午前	「おやき・五平餅づくり」（地域の食文化体験）	国立信州高遠青少年自然の家職員，研修指導員
	午後	ホームステイ家族との対面	ホームステイ各家庭
	夜	ホームステイによる日本の生活体験	ホームステイ各家庭
	11月22日（日）		
4 日 目	午前	ホームステイ家族との交流	ホームステイ各家庭
	午後	ホームステイ家族との交流	ホームステイ各家庭
	夜	意見交換会準備	国立信州高遠青少年自然の家職員
	11月23日（月）		
5 日 目	午前	「高遠町オリエンテーリング」中学生との交流（地域の歴史・文化体験）	国立信州高遠青少年自然の家職員，中学生交流実行委員会，高遠町歴史博物館 笠原千俊館長
	午後	中学生意見交換会（高遠中学生）	国立信州高遠青少年自然の家職員，中学生交流実行委員会
	夜	研修のまとめ	国立信州高遠青少年自然の家職員
	11月24日（火）		
6 日 目	午前	第2回 高遠中学校訪問（授業，給食体験）	伊那市立高遠中学校
	午後	〃 （清掃体験，学年・全体交流会）	伊那市立高遠中学校
	夜	研修のまとめ	国立信州高遠青少年自然の家職員
	11月25日（水）		
7 日 目	午前	信州大学農学部訪問（日本語補講，留学生との交流）	信州大学農学部 小野珠乙教授，信州大学学務グループ
	午後	松本城見学（日本の歴史・文化学習）	国立信州高遠青少年自然の家職員，アルプス善意通訳協会
	夜	研修のまとめ	国立信州高遠青少年自然の家職員
	11月26日（木）		
8 日 目	午前	駒ヶ岳ロープウェイ，千畳敷カール雪山体験（日本の自然体験）	国立信州高遠青少年自然の家職員
	午後	駒ヶ根シルクミュージアム見学・体験（日本の文化体験）	国立信州高遠青少年自然の家職員，駒ヶ根シルクミュージアム 関宏夫館長
	夜	フェアウエルパーティー	国立信州高遠青少年自然の家職員，中学生交流実行委員会
	11月27日（金）		
9 日 目	午前	荷物整理，退所，東京へ出発	国立信州高遠青少年自然の家職員
	午後	各国大使館訪問，留学生講話	国立オリンピック記念青少年センター職員
	夜	交流会	国立オリンピック記念青少年センター職員
	11月28日（土）		
10 日 目	午前	合同評価会	国立オリンピック記念青少年センター職員
	午後	都内自主見学（アセアン中学生）	国立オリンピック記念青少年センター職員
	夜		
	11月29日（日）		
11 日 目	午前	成田空港・羽田空港へ移動，出国	国立信州高遠青少年自然の家職員
	午後		

	信州高遠アセアン企画委員会		場所
1	6月2日（火）	第1回 「交流事業概要，実施計画，各プログラム内容について」	伊那市役所 会議室
2	11月23日（月）	事業視察「中学生意見交換会」	伊那市立高遠中学校
3	2月2日（火）	第2回 「本年度事業の振り返り，成果と課題，次年度の方向性について」	伊那市役所 会議室

	中学生交流実行委員会		場所	指導者
1	7月27日（月）	交流実行委員会発足会（交流事業概要説明）	伊那市立高遠中学校	国立信州高遠青少年自然の家職員 伊那市立高遠中学校職員
2	8月30日（日）～ 8月31日（月）	第1回 交流実行委員会【合宿】（アセアン学習会）	国立信州高遠青少年自然の家	国立信州高遠青少年自然の家職員 伊那市立高遠中学校職員
3	9月9日（水）	第2回 交流実行委員会（意見交換会について）	伊那市立高遠中学校	国立信州高遠青少年自然の家職員 伊那市立高遠中学校職員
4	10月21日（水）	第3回 交流実行委員会（高遠町オリエンテーリングについて）	伊那市立高遠中学校	国立信州高遠青少年自然の家職員 伊那市立高遠中学校職員
5	11月11日（水）	第4回 交流実行委員会（パーティー企画・運営について）	伊那市立高遠中学校	国立信州高遠青少年自然の家職員 伊那市立高遠中学校職員
6	1月18日（月）	第5回 交流実行委員会（全校集会：アセアン交流活動報告会）	伊那市立高遠中学校	国立信州高遠青少年自然の家職員 伊那市立高遠中学校職員

○活動の概要

(1) アセアン中学生の日本に対する理解の増進について

①11月19日(木)神社参拝[諏訪大社] ②11月20日(金)日本文化に関する講義 ③11月20日(金)市長・教育長表敬訪問[伊那市役所]



④11月20日(金)市長・教育長表敬訪問[伊那市役所]



⑤11月20日(金)ウェルカムパーティー



⑥11月21日(土)食文化体験[おやき]



⑦11月21日(土)食文化体験[五平餅]



⑧11月21日(土)ホームステイ体験



⑨11月22日(日)ホームステイ体験



⑩11月25日(水)日本語補講[信大農学部]



⑪11月25日(水)留学生講話[信大農学部]



⑫11月25日(水)日本の歴史学習[松本城]



⑬11月25日(水)日本の歴史学習[松本城]



⑭11月26日(木)雪山体験[駒ヶ岳千畳敷] ⑮11月26日(木)養蚕歴史館見学[シルクミュージアム]



【参加者の感想から】

- 日本の雪に感動した。真っ白で美しい景色が本当に素晴らしかった。
- 美しいシルクを作り出す技術に驚いた。繭玉で作った美しいブローチを大切に使いたい。
- 日本の侍が作った松本城は本当に素晴らしいと感じた。これから是非大切に残して行ってほしい。
- ホームステイで、ホストファミリーの皆さんに本当に優しくしていただいた。日本人の心の温かさを感じた。

(2) 日本人青少年の国際的視野の醸成・次世代リーダーの育成について

【日本人中学生】

①7月27日(月)中学生実行委員会発足 ②8月30日(日)実行委員会合宿 ③8月31日(月)実行委員会合宿



④11月23日(月)高遠町オリエンテーリング ⑤11月23日(月)高遠町オリエンテーリング ⑥11月23日(月)中学生意見交換会



⑦11月23日(月)中学生意見交換会 ⑧11月23日(月)中学生意見交換会 ⑨11月24日(火)中学校一日体験



⑩11月24日(火)中学校一日体験 ⑪11月26日(木)フェアウェルパーティー ⑫11月26日(木)フェアウェルパーティー



【日本人大学生】

①11月19日～21日(通訳ボランティアA日程) ②11月22日～24日(通訳ボランティアB日程) ③11月23日～26日(通訳ボランティアC日程)



【日本人中学生・大学生の感想から】

○アセアンの皆さんが積極的にどんどん意見を出す姿に驚いた。自分たちも頑張らなければならないと思った。
○英語をちゃんと話せないため、言いたいことがなかなか伝わらないのがもどかしかった。もっと英語を勉強しなければならないと強く感じた。
○通訳という大変貴重な経験をさせていただいた。国際交流の大切さを身にしみて感じた期間だった。来年も是非この事業に再び通訳として参加させていただきたい。それまでに更に語学力を磨いておきたいと思う。
○このボランティアを通して学んだことは大変多く、たくさんの方々から刺激を頂いた。今回の通訳ボラでの失敗や学んだことを今後の勉強に活かしていきたいと強く感じた。通訳の経験を積み重ねたいので、また当事業に参加させていただければありがたい。

(3) 高遠中学校との交流を通して

①11月20日(金)中学校部活動交流 (剣道部, バスケットボール部, サッカー部)



②11月24日(火)中学校授業体験 (書道, 和太鼓, 英語等)



③11月24日(火)給食体験・清掃体験



④11月24日(火)学年交流 (ジェスチャーゲーム, 坊主めくり等) ⑤11月24日(火)全体交流 (高遠中: 合唱)



⑥11月24日(火)全体交流 (シンガポール: 歌, カンボジア: 国旗紹介 & 歌, ブルネイ: 民族舞踊)



【高遠中学生の感想から】

- 高遠町オリエンテーリングで高遠の様々な場所を案内することができて良かった。外国の人と交流することはとても大切だと思った。
- 英語力を高めないと言葉が通じない。高遠城址公園等の説明をするときに困ってしまった。
- 言葉は通じなくても、身振り手振りで結構伝わった。伝えようとする気持ちや心が大切だと感じた。
- ラインやメールアドレスを覚えてもらった。これからもずっと交流を続けていきたい。
- もっとお互いの国のことをよく知りたい。
- アセアンの友達ができて嬉しかった。みんなとても優しい人たちでありがたかった。
- 色々な交流やフェアウエルパーティーが本当に楽しかった。アセアン実行委員になって良かった。
- 高遠中学校のことを好きになってくれて嬉しかった。私達もアセアンの国に行ってみたいと思った。

(4)東京プログラム 合同評価会から

①11月28日(土) 合同評価会 (オリンピック記念センター)



シンガポール・カンボジア・ブルネイ・マレーシア・タイのアセアン5か国と、信州高遠青少年自然の家(高遠中【3名】), 花山青少年自然の家(栗原西中【1名】), 栗駒中【1名】)が参加。



◎マレーシアの発表



◎タイの発表



◎花山の発表



本事業での経験を踏まえて『日本とアセアンの交流を活発にするための方策(プロジェクト)』を考案し、発表した。

◎ブルネイの発表



◎カンボジアの発表



◎シンガポールの発表



各国とも交流を発展させるための具体的なプランを提案した。政府への働きかけや新しいSNSアプリの作成等、様々なアイデアが披露された。

◎高遠中学校発表「Technology Expansion Project」



【伊那市立高遠中学校交流実行委員の発表内容とその考察】

中学生意見交換会の際に話し合った内容を踏まえ、今後アセアンと日本の交流を発展させる案として「技術拡大プロジェクト～Technology Expansion Project～」を作成した。ブルネイが抱える課題は石化資源の枯渇(あと二十数年しか持たない)であり、高遠の課題は就職可能な企業等の減少による就労難である。その両国が抱える課題を同時に解決するために、日本(高遠)は石化資源に頼らないエネルギー技術をブルネイに伝えるべく技術者を派遣する(電気自動車・ソーラーシステム等)。そしてブルネイは日本の企業や労働者を受け入れる体制を整えることを提案する。また、両国を深く理解し合うために日本人の英語力を向上する取り組みも必須とする。

互いの国の良い点、課題点について深く話し合った中学生意見交換会の内容が十分に活かされた発表であった。自己が居住する地域の課題や、日本を取り巻く諸外国が抱える課題について、日本人中学生がここまで深く考える機会にはなかなか無い。本年度高遠中学校交流実行委員のメンバー達は、今後アセアン各国の社会情勢にも興味を持って日々を過ごすであろう。合同評価会に於いて自分たちが考案したプロジェクトを堂々と発表し、各国のプロジェクトに対する質問や意見等も積極的に述べた高遠中実行委員会役員の3名は、異なる文化や価値観を柔軟に受け入れ、多様な立場の人々と共に課題解決に向けた行動をとることのできる人間に育ちつつあると感じる。本年度の当事業は、海外青少年の日本に対する理解増進はもちろん、日本人青少年の国際的視野を醸成し、次世代リーダーを育成するための意味合いも色濃く出た事業であったと感じている。次年度は、本年度実施した内容を更に深めると共に、国際交流に臨む中学校の広域化も図りながら事業を推進していく予定である。

(担当：企画指導専門職 山崎 重幸)